

編集後記

筆者は以前（2018-2019年論文集担当理事就任当時）に複数の部門講演会にて論文執筆セミナーを企画、開催したことがあるのですが、セミナーには若手の研究者を中心に多くの方々に参加いただきました。研究・技術者にとって論文を書いて公表することは、自身の「やってきたこと」を世に知らしめる手段として必要不可欠ではありますが、その一方で「どうすれば論文を書けるようになるのか」と悩む人も少なからず存在し、そのような悩みを抱えた方々が参加していたように当時感じました。また、オープンアクセス化をはじめ論文出版業界を取り巻く状況もここ数年で目まぐるしく変化しています。学会誌「計測と制御」ではこれまで技術的なトピックを扱うことが多かったのですが、今月号は趣向を変えて、上記のような状況を踏まえて論文に関する特集号を企画しました。今回は経験豊富な研究者の皆様にも論文に対する考えや経験談も語っていただいていますので、「なぜ論文を書くのか？」という疑問に対するヒントをつかんでいただき、少しでも多くの方々が

「論文を書こう！」とあっていただければ幸いです。

本特集号を企画するにあたり、ゲストエディタを引き受けていただいた河村隆先生ならびに高崎正也先生には御礼申し上げます。また、ご多忙の中で原稿執筆を引き受けていただいた執筆者の皆様にも感謝申し上げます。さらに、本特集号編集業務で多大なる貢献をいただいた、株式会社国際文献社「計測と制御」担当の皆様ならびに本会事務局担当へも厚く御礼申し上げます。

会誌出版委員長の職権乱用とお叱りを受けるかもしれませんが、最後にこの場を借りて学会誌について一言述べさせていただきます。本特集号での杉江総務理事、高橋（前）総務理事の共著記事でも言及していますが、和文論文集だけでなく「計測と制御」も2026年目標に電子出版化へ移行すべく鋭意準備を進めています。学会誌も時代に即した変革を遂げようとしています。こちらについてもご期待ください。

（山下 智輝 記）

◇第63巻第12号（2024年12月号） 予定目次◇

一般記事			
リレー記事 「FACE the future」《第71回》室内環境理解とその医療分野への応用	杉山 治（近畿大）	解 説	建設施工の効率向上を目指した自動化施工システムとその設計法 浜本研一（鹿島建設）
特集 スマート・マニファクチャリング		解 説	CESと米国科学技術政策にみるスマート製造の潮流 青木 崇（DBJ）
総 論 第4次産業革命等におけるスマートマニファクチャリングとその対応に関して	水上 潔（RRI）	解 説	Smart Manufacturingの国際標準化の進展と関連最新技術動向 小田信二（横河電機）
解 説 データモデリングとデジタルツインによる鉄鋼生産プロセス改革	北田 宏（日本製鉄）	解 説	大規模プラントの監視・診断システムと適用事例 久保直博、今成宏幸（TMEIC）
解 説 自律制御AIによる化学プラントの省エネルギーオペレーション	小淵恵一郎（横河デジタル）	解 説	型レス部品製造におけるアディティブ・マニファクチャリングの活用 三宅一實（本田技術研究所）、三武 順（SOLIZE）、平川晃暉（ユタカ技研）
解 説 スマートマニファクチャリングの進化とOTとITの融合	坂田真一郎、百武博幸、高柳洋一（東芝インフラシステムズ）		

（第63巻第11号）

ゲストエディタ：河村 隆（信州大学）、高崎正也（埼玉大学）

特集号編集WG：伊藤博通（神戸大学）、大塚章正（山口東京理科大学）、西川 鋭（九州大学）、田中基康（電気通信大学）、井上 淳（東京電機大学）、堀内哲也（産業技術総合研究所）、山下智輝（前川製作所：幹事）

2024年度 会誌出版委員会（五十音順）

委員長：山下 智輝

副委員長：小木曾公尚

飴谷 充隆	伊藤 博通	伊藤 優司	井上 淳	伊吹 竜也	大谷 雅之	大塚 章正
岡島正太郎	岡本 有司	尾山 匡浩	川喜田佑介	川瀬 利弘	久下本秀和	関 宏理
田中 基康	豊田 充	西川 鋭	西野 敦洋	長谷川圭介	堀内 哲也	堀川徳二郎
宮廻 裕樹	保田 俊行	山田 広明	吉野 公三			